

研修目的

1. チーム医療の重要性を理解する (行動目標)

院内の職員（医師、看護師、その他の Co-medical）に適切に挨拶できる。
看護師とのコミュニケーションがうまくできる。
指導医とのコミュニケーションがうまくできる。
医療に係る他の職種とその役割について説明実践できる。
その中での臨床研修医の役割について説明実践できる。

2. 肺癌の診療に参加できる (行動目標)

肺癌の症状、危険因子について説明できる。
肺癌の代表的 4 組織型を列挙し、それぞれの特徴について説明できる。
胸部診察を実践できる。
胸部レントゲン、胸部 CT を読影できる（正常構造と異常陰影とを区別し、陰影の性状を適格に表現できる）。
病期分類につき説明できる。
病期分類ごとの治療法、5 年生存率を説明できる。
胸部異常陰影あるいは喀痰細胞診陽性例に対する気管支鏡検査について説明できる（適応、導入法、喉頭から区域支までの解剖、合併症）。

3. 肺癌肺切除術の機能的適応の判断ができる (行動目標)

指導教官の監督のもと動脈血採血を行い、血液ガス分析所見について説明できる。
肺機能検査成績について説明できる。
術後予測肺機能（一秒量、肺拡散能）を計算し、周術期呼吸器合併症予測ができる。

4. 肺癌の標準術式について理解する。 (行動目標)

適応について説明できる。
肺葉・区域・部分切除術の手順及び侵襲度を説明できる。
肺門・縦隔リンパ節郭清の意義及び転移の有無からの予後予測について説明できる。

5. 肺癌肺切除術に参加できる。 (行動目標)

開胸法について説明できる（種類、切断する筋、開胸肋間等の解剖）。
胸腔内の解剖について説明できる。
指導教官の監督下に肺癌手術の補助や閉胸時の縫合が実践できる。

6. 肺切除術後管理に参加できる。 (行動目標)

術後胸腔ドレナージの原理、管理法について説明実践できる。
術後の輸液（術中水分バランス）について説明実践できる。
術後疼痛管理法について説明実践できる。

術後合併症について列挙し、説明対応できる。
創部及びドレーン挿入部の処置が実践できる。
ドレーン抜去法について説明実践できる。
術後患者が気をつけるべき事項について説明できる。

7. 周術期において適切な患者-医師関係を築くことができる。

(行動目標)

入院患者さんとの適切な会話ができる。
主治医の患者説明を理解し、自らも適切な問診ができる。
術後患者に喀痰喀出、深呼吸、鎮痛等に関して助言することができる。
診察、処置前の手洗いが実践できる。
適切に声がけしながら処置が実践できる。

8. 気胸の診療に参加できる。

(行動目標)

気胸の症状、好発年令、性差について説明できる。
女性の気胸、高齢者の気胸について説明できる。
気胸の画像診断について説明できる。
気胸の処置法を選択実践できる。
胸腔ドレナージについて説明実践できる。
気胸の手術適応について説明できる。
気胸の手術法、成績について説明できる。
緊張性気胸の診断、処置法について説明実践できる。
指導教官の監督下に気胸に対する手術補助や閉胸時の縫合が実践できる。

9. 縦隔腫瘍の診療に参加できる。

(行動目標)

縦隔の部位による好発腫瘍を分類できる。
胸腺腫の合併症を列挙できる。
胸腺腫の治療方針を説明できる。
指導教官の監督下に縦隔腫瘍に対する手術補助や閉胸時の縫合が実践できる。

10. 膿胸の診療に参加できる。

(行動目標)

膿胸の時相、原因を分類できる。
膿胸の合併症を列挙できる。
膿胸の治療方針を説明できる。
指導教官の監督下に膿胸に対するドレナージ術ができる。
指導教官の監督下に膿胸に対する手術補助や閉胸時の縫合が実践できる。

習得できるアウトカム（能力）

- 1) 必ず習得できるアウトカム（能力）：前述の行動目標を参照すること。
- 2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）：前述の行動目標がクリアしていることを確認できた研修医にはさらに上級の診療への参加を促す。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

診療は常に指導医とペアで行い、その場でのフィードバックのみならず、カンファレンス等でフィードバックを繰り返し行う。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	回診、病棟	気管支鏡検査、病棟	回診
火	朝カンファ、回診、病棟	病棟、回診	術前カンファレンス
水	手術、病棟	手術、病棟、回診	術前カンファレンス
木	手術、病棟	気管支鏡検査、病棟	術前カンファレンス
金	手術、病棟	手術、病棟	回診

指導責任者および指導医

指導責任者：菅原崇史准教授（病院教授）

指導医：石橋直也講師（病院准教授）、佐々木高信助教、大島穰助教、野々村遼助教

学会発表・論文作成に対する指導体制

助教以上のスタッフ全員で、適宜テーマを与えて学会発表、論文作成を指導する。